

# 「核戦争の可能性ある」

## 国連事務総長が危機感

グテーレス国連事務総長は14日、「核戦争が起る見通しは、考えられないという時期もあったが、いまでは可能性があるものに戻ってしまった」と語った。

ロシアによるウクライナへの侵攻をめぐり、敵対的行為のさらなるエスカレートに強い危機感を示した。

グテーレス氏は報道陣に對し、「ウクライナが燃えている。世界が見守る中、國が壊滅状態になつてゐる」と指摘。「ロシア軍の

攻撃を受け、道路や空港、学校が荒廃している」とロシアを批判し、「事態は悪化の一途をたどっている。結果はどうであれ、この戦

争に勝者はなく、敗者だけがうまれる」と語った。  
また、ロシアが核戦力を含む抑止力を「特別態勢」と表明。「ウクライナの人びとに襲いかかる恐怖を止め、外交と平和の道を歩むべきときだ」とロシアに対し呼びかけた。  
(ヨーロッパ・藤原学)

も凍る」と表現。警戒感を示し、核関連施設の安全性を保つ必要性も訴えた。

グテーレス氏はさらに、国連としてウクライナに47億円の緊急支援を追加する